

2022年3月期の連結ソルベンシー・マージン比率

2022年3月期の連結ソルベンシー・マージン比率につき、下記のとおり算出しましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円、%)

	2020年度末 (2021年3月31日)	2021年度末 (2022年3月31日)
(A) 連結ソルベンシー・マージン総額	226,640	230,224
資本金又は基金等	81,306	87,592
価格変動準備金	4,258	4,953
危険準備金	8	12
異常危険準備金	72,040	76,604
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	62,569	52,462
土地の含み損益	4,446	4,453
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△1,550	△1,634
保険料積立金等余剰部分	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	—	—
控除項目	2,462	2,462
その他	6,023	8,241
(B) 連結リスクの合計額	39,531	39,260
$\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2 + R_8 + R_9}$		
損害保険契約の一般保険リスク (R ₁)	14,684	15,132
生命保険契約の保険リスク (R ₂)	—	—
第三分野保険の保険リスク (R ₃)	—	—
少額短期保険業者の保険リスク (R ₄)	—	—
予定利率リスク (R ₅)	1,172	1,054
生命保険契約の最低保証リスク (R ₆)	—	—
資産運用リスク (R ₇)	28,068	26,761
経営管理リスク (R ₈)	994	991
損害保険契約の巨大災害リスク (R ₉)	5,815	6,603
(C) 連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	1,146.6	1,172.8

(注) 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条の2及び第88条並びに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率であります。

ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

以上